※令和４年度以降入学生用

学校番号	1009

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	(学)空間デザイン	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人の人体寸法･感覚･心理を把握した上で、人々の生活をより豊かにするための計画と提案を行い、実際に活用できる知識と技術を、実習を通じて学んでいきます。

２　学習の到達目標

・立体模型や平面構成の作品制作を通じて、寸法感覚を養うことができる。また必要な材料の加工方法やその特徴を理解することができる。
・作品制作を通じて、コンセプトに沿った作品を完成させることができ、プレゼンテーションをすることができる。
・作品制作を通じて、知識・技術を習得しようと主体的に取り組もうとしている

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・立体模型や平面構成での作品制作を通して寸法感覚を養い、制作に必要な材料の加工方法や特徴を理解する。	・コンセプトに留意し用途と目的に応じたデザインにすることができる。 ・使用する材料に応じた加工をすることができる。	・作品制作を通して知識・技術を習得しようと主体的に学習に取組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	空間デザインの概要と立体構成	空間デザインとは ・ワークシート	a/b:空間デザインの概要を理解をし、ワークシートで理解を深めていく。 c:空間デザインに意欲を持ち、主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・取り組み ・ワークシート
		立体構成の基礎 ・カッターワークの基本 ・スチレンボードの仕組み ・ワークシート ・練習課題 ・作品制作	a/b:カッターワークを理解し、指示通りに作業をする。またスチレンボードの仕組みを理解し、指示通りに作業をし、立体制作をする。 c:立体構成に興味を持ち、意欲的に作業に取り組もうとする。	・練習課題 ・作品 ・ワークシート	・練習課題 ・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート
	インテイリアエレメント生産	ミニチュア家具 ・インテリアの構成要素 ・材料と加工技術 ・三面図と立体図 ・ワークシート ・作品制作 ・相互鑑賞	a/b:インテリアの構成要素を理解し、正しい寸法と形状の模型を制作する。また、三面図と立体図を理解し、適切な判断をしながら組み立て作業をすることができる。 c:インテリアに興味を持ち、意欲的に作業に取り組もうとする。また他者の作品を鑑賞し、自分の作品について理解を深める。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・ワークシート	・制作の様子 ・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	パース（透視図）	パース ・パースの概要 ・着彩技法 ・配色技法 ・練習課題 ・ワークシート ・作品制作 ・プレゼンテーション	a/b:パースについて理解をし、着彩技法・配色技法を習得する。また、テーマに沿った情報を収集の際に情報の取捨選択をしながら、色彩構成を考え、適切な技法を用いて効果的な表現をする。 B:自分の作品を第三者に伝わるようなプレゼンテーションをする c:多様な表現があることに意欲を持ち、主体的に取り組もうとする。また自己評価及び他者の作品に対して批評をする。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・プレゼンテーション ・ワークシート	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子 ・ワークシート
3学期	住宅室内設計もしくは店舗設計	住宅室内設計もしくは店舗設計 ・住宅設計もしくは店舗設計の概要 ・人間工学 ・ワークシート ・作品制作 ・プレゼンテーション	a/b:人間工学について理解をし、用途に応じた形状の模型を設計した寸法に沿って制作をする。 c:住宅設計関連もしくは店舗設計関連に興味を持ち、意欲的に作業に取り組もうとする。また他者の作品を鑑賞し、自分の作品について理解を深める。	・作品 ・ワークシート	・作品 ・プレゼンテーション ・ワークシート	・制作の様子 ・プレゼンテーションの様子 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度